

エアサイクルシステム

エアサイクルシステム

フクビ エアサイクル®システム

耐震制震 床基礎の気密断熱 遮熱透湿防水 開口住設備 換気システム 換気器材 スパンドレル 浴室水廻り 点検口枠 防鼠下地材 内装建材 養生保安 外装建材 左官資材 乾式二重床 シート受身 床仕上げ材

その他

人と住まいと地球の健康という資産

フランチャイズ制

長く住み続けて納得、健康という資産が持続する環境共生住宅

エアサイクルシステムは自然エネルギー(日射、温度、通風、地熱)を活かしたパッシブソーラーハウス、日本独特の湿気も考えて春夏秋冬、そして梅雨を快適に過ごせる健康住宅のパイオニアです。
～SINCE 1984～

http://www.aircycle.co.jp
エアサイクルの家
Since 1984

先人の知恵と、地元工務店の経験を活かした
21世紀のスタンダード工法

1984年の創業から、住宅の資産価値の維持が立証されています。

日本の昔の家づくりには夏を中心に考えた暮らしの工夫がありました。

日本の気候は亜寒帯気候から亜熱帯気候と、さまざまな気候風土があり、気温、湿度、日照、降水、降雪、風といった気候要素も地方により異なったものとなっています。このような自然環境のなかで古くから生活が営まれ、その経験、言いかえ

れば「生活の知恵」から日本古来の伝統的な住宅が生まれ、家づくりの手法が確立され、それぞれの地方にあった地域の大工さんによって建設されてきました。

なぜ、地窓が付いていたの？

●日陰の地表面温度の利用

日陰(北側)の給気口より涼気を取り入れて室内の高所より排熱を行う。



なぜ、かや葺きだったの？

●温度差、風圧の利用

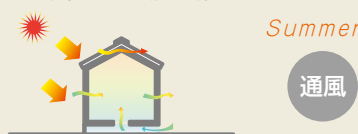
壁、屋根の通気層により日射を受けて熱を排出します。



なぜ、縁の下があったの？
間取りが開放的なのは…？

●風の利用

3次元的に通風計画を行い、自然の風を利用して冷房にはない、爽快感を得ます。



なぜ、庇や縁側や庭木があり、
どうして、よしずを使うの？

●上手な日射遮蔽

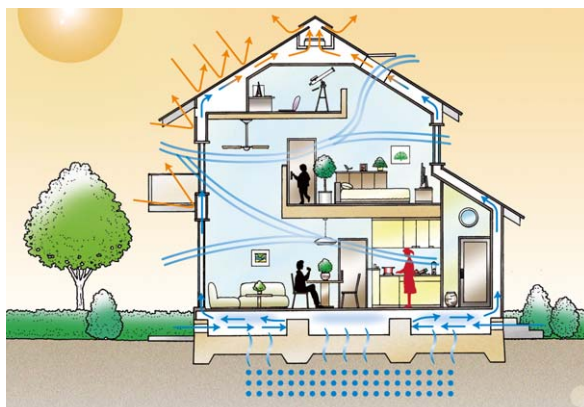
窓より入る日射を、方位別の手法により遮蔽し、室内の温度上昇を抑えます。



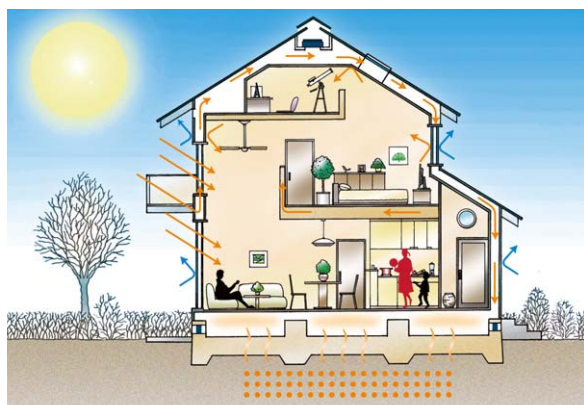
なぜ、夏に日射を遮蔽する縁側や
庭木だけど、冬は？

●日射の利用

落葉樹を植え、太陽熱を直接窓より取り入れ(ダイレクトゲイン型)、暖気を得ます。



熱せられた空気は上昇気流となって、小屋裏の換気口から屋外に放出されます。また、床下の換気口から取り込んだ風が、床下空間の涼気とともに上昇し、壁内部の温度上昇を軽減してくれます。



小屋裏と床下の換気口を閉じて冷たい外気の侵入を遮断するとともに、断熱気密化された空間をつくります。閉じられた壁・小屋裏・床下の連通空間の中で太陽熱や生活エネルギーによって動く空気の流れにより、建物全体を暖かい空気で包みます。

フランチャイズ制

●フランチャイズ加盟店募集のお問い合わせ。



フクビエアサイクル チェーン本部

〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号フクビビル
TEL 03-5709-3196(代) FAX 03-5709-3266